

社内報

2023年 2月

No. 447

大洗地区・
自衛消防訓練実施報告・・・ 02

ES・CSフォトギャラリー・・・ 04

配属されて・・・・・・・・・・ 06

ともに歩もう・・・・・・・・・・ 07

人の動き・・・・・・・・・・ 08



メジロ～神奈川県～

Photo by Atsushi Koga

「仕事の原理」を理解して仕事を進めよう

早いもので今年も一ヶ月が過ぎました。皆さん一年のスタートを勢いよく切ることができましたか？

今回は、最近私が皆さんに話をしている「仕事の原理を理解して仕事を進めて下さい」について説明致します。

これは私が皆さんによくお話しする例え話です。

バスに車いすの人を乗せる場合、バス入り口の段差の分をただ持ち上げて乗せるには2～3人が必要となります。しかしスロープを使えば1人で押して乗せる事が出来ます。車いすの人は大勢のサポートを必要とせずに済みますし、車いすを持ち上げないので安定した状態で座っていられます。2～3人が「よいしょ」とやっている時間の分、車内の固定位置に着くまでの時間も短縮されるのではないのでしょうか。サポートする側は労力が少なく済むでしょう。

この場合の目的は、車いすの人を安全にバスに乗せること。目的が理解できれば、創意工夫する事により、より効率の良い方法で同じ成果が出せるだけでなく、その質も向上させることができます。皆さんも、自分の担っている仕事において、仕事の目的を理解した上で、創意工夫しながらより良い方法を考えて仕事をして下さい。

お客様から測定器が欲しい、ガラスバッジを着けたい、線源が欲しい等の問い合わせが多々あると思います。何故お客様はそれが欲しいのか、何に困っているのか、どの様な事を行ったり提案したりすればお客様は助かるのか、喜んで頂けるのかを常に考えて取り組んで下さい。ただ言われたことに応じるだけではなく、要望の本質は何なのか、どうすれば満足していただけるのかを考えてほしいのです。

社内の資料作りひとつ取っても、「この資料を毎月作成しているけど、何の目的でどの様に活用されているのかな？」と考えれば、もっとより良い資料が出来るでしょう。

皆さんが担っている仕事に遣り甲斐を持って楽しく仕事をしていきましょう。

お客様の要望や課題を感知し、お客様に喜んで頂ける価値を提供します。



社長

井上 任

大洗地区・自衛消防訓練実施報告

大貫台事業所と大洗研究所では、昨年11月24日(木)に自衛消防訓練を実施しました。今回は火災発生場所(火元)を、大貫台事業所はRMC工作室分電盤、大洗研究所は総合研究棟1階の総務部仮置き品(可燃物:使い捨て防じんマスク)と想定しました。



出火元想定場所(大貫台)



出火元想定場所(大洗研)

大洗研究所には事業所一斉通報システムが無いことを踏まえ、非常ベルを鳴らすこととし、事前に研究所近隣の住宅を訪問して、24日に非常ベルの吹鳴を行う旨をお伝えしました。

当日は、大洗町消防本部より大貫消防署長と布瀬課長、消防関連システムを維持管理している



非常ベル吹鳴(大洗研)



一斉通報の様子(大貫台)

るセコム株式会社の本内様にお越しいただきました。

大貫台事業所では、10時の出火時刻に合わせて、敷地内への一斉通報と大洗町消防本部への模擬通報、2号消火栓を使用しての放水による模擬消火、及び建屋内人員(社外の方も含め)の避難活動を行いました。

大洗研究所では、11時の出火時刻に模擬消火と合わせて各所の指揮班長への伝達と非常ベルの吹鳴、大洗町消防本部への模擬通報、敷地内人員の避難活動を行いました。

出火から点呼終了までの時間は、大貫台事業所が9分30秒(想定15分以内)、大洗研究所は4分47秒(想定5分以内)で、いずれも想定時間内で避難を完了しました。



点呼の様子(大貫台)



避難の様子(大洗研)



大洗消防本部による消火指導（大洗研）



消火栓による放水訓練（大貫台）

点呼終了後、大貫消防署長からのご講話の中で、両施設ともスムーズに行動できていた旨の言葉をいただきました。

大洗研究所では消防訓練終了後、特定放射性同位元素防護規程（大洗研究所は、線源貯蔵棟と放射線照射棟を有するため、防護規定を定めています）に基づき、防護従事者による訓練を実施しました。

今回は、線源貯蔵棟へ不審者が侵入後、逃走したと想定し、施設の状況確認のため、線源貯蔵棟前を区画設定し、防護服の装着や施設の外から模擬サーベイを行いました。

災害は何時起こるか分かりません。今後も万が一の非常事態に備えて、定期的に訓練を行ってまいります。



区画設定の様子（大洗研）



定点サーベイの様子（大洗研）
（大洗研究所 防火管理者 根岸 公一郎）

ES・CS フォトギャラリー [93]

～社員がイキイキと輝く会社づくりが、お客さまの感動を創造する～

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇読了報告ありがとうございます◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

読了報告書が次々と届いております。管理職の方々の課題図書Aのメ切は1月末なので、まだまだ届くのだろうと思います。年末に12月26日までの提出分をまとめ、会長と社長に第1回報告を行いました。

今号は、読了報告書の記述欄で、「私の気づき」として、気づきを得て実践する事や大きく共感した事などを、3つ以内で箇条書きしてもらった内容をお届けします。提出者の方々に本を持った自撮り写真を送ってこないかなと呼び掛けしてみたのですが、誰も送ってくれなくて残念でした。困ってしまったので社内報編集担当の鈴木浩子さんと、たまたま目が合ったシステム部の井上寿宏部長にご協力いただき、ヤラセ写真を撮らせて頂きました。皆様からの自撮り写真もまだまだ受け付けますので是非お送りください。



◆第66期 課題図書

「いま、目の前にいる人が大切な人」 坪崎美佐緒 著／大久保寛司 プロデュース

□ A.Tさん

- ①非難や指摘をするのではなく、表面だけを見て判断するのではなく、相手の奥底の思いを理解する力、心の叫びを感じる力をつけたい。
- ②自分から元気に挨拶をすること、これを続けたい。
- ③正論を言うだけでは、何の変化も起こりません。これに大きく共感した。

□ A.Hさん

- ①相手の尺度でどれだけ理解できるかで相手も変わることもある。自分の尺度を他人に当てはめてしまいがち。今後、自身の行動として意識していきたいと思います。
- ②当社の行動方針でもあるお客様のクレームに最優先に対応し素早い解決を図るという部分にも共通した事項が記載されておりました。表面的な方法だけではなく、人間性を高めることが結果的に双方にとって良い方向性を導き出せるということを理解しました。
- ③人としての成熟度は年齢とは関係ない。年齢に関係なく、人の良いところは見習って吸収していきたいと思います。



□ T.Oさん

- ①「こうなってほしい」というのは私の希望であって、という言葉が妙に頭から離れず、自分もこう思って日々過ごしていないかと考えさせられました。
- ②人生はオセロゲームに似ています。の中で書かれている、もし私だったら…のところにすごく共感してしまいました。

□ T.Sさん

- ①人は理解された時、変わる。(誰もが認めてもらいたがっている)
- ②正論を言うだけでは、何の変化も起こらない。(自身の考えが本当に正論かも問う)
- ③相手の尺度で見る。(顧客に対する姿勢でもあり、部下にも同様に応じる必要がある)

*今期は部下の配置や顔ぶれも変わり、また、各地に配置されていることから、横の繋がりの強化や職場環境の見直しを自身の課題としています。上記3つは自身で試みて実感したポイントでした。

☞ T.Sさん

- ①相手の心に寄り添い、話を聴くということは、自ずと涙が伴うものだと感じた。坪崎さんはいつも相手の話を聴きながら涙を流していたことが印象的であった。
- ②正しい言葉だけでは人を導くことはできない。人には受け入れられない訳があるわけで、その訳を心からケアしていくことが必要なのではないかと推測した。
- ③その訳に気づくには、日頃から物事をよく考える習慣と何事もポジティブであることが必要だと感じた。



協力：システム部長の
井上寿宏さん

☞ Y.Iさん

- ①聴き方の大事さ、重要さを痛感しました。じっくりと相手の話に耳を傾けてあげることで、相手の気持ちを段々と理解したり、相手を心開かせたりできるものであることは、実際の現場においても非常に有効な手段であると思いました。
- ②この主人公である坪崎さんは、高校生のころからこうした術を身に付けているのである意味才能であるとは思いますが、極力真似できる部分はしていきたいと思います。



協力：社内報編集担当の
鈴木浩子さん

☞ Y.Mさん

- ①笑顔の挨拶（もっとも心地良いもののひとつとあり、確かに不快に思われることはない）
- ②相手を理解する（人は理解されたときに変わり、信頼が生まれる）
- ③自分で考えるように導く（自身で考えたことは必ず実践する）

◆新規に設定した啓発図書

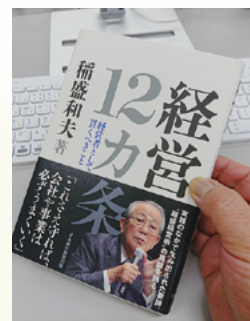
「経営12カ条～経営者として貫くべきこと～」 稲盛和夫 著

新規設定の啓発図書の読了報告書を11月に提出してくれた社員の方がいましたので追加します。

☞ N.Hさん

- ①目標を達成したいという「願望」をどのくらい強く持っているか。潜在意識に達するまで強く思い続けているか。
- ②「私なりに」ではなく「誰にも負けない」努力をしているか。率先して「誰にも負けない」努力をしているか。
- ③人間として何が正しいのかという原理原則を貫けているか。穏便に済ませること、波風を立てないことを判断の基準にしていないか。

*本書を通じて、高い理想を掲げ愚直に努力を続け、時に波や泥をかぶる時は自らがかぶりにいくことを改めて学ばせていただきました。着実に成長を続けていくときの原理原則は変わらないこと、しかしながら分かっているも日々の波に飲まれて忘れてしまうため、折に触れ聞かされ続けていかなくてはいけないことだと感じました。



◆本社2階の本棚

本社2階エレベーターホールにある本棚に、新規の課題図書と啓発図書を2冊ずつ展示しました。図書貸出簿に社員番号と書籍名など必要事項を記入すれば借りることもできます。

昨日見たところ、課題図書は2冊とも、新規啓発図書は各1冊が貸出中になっていました。ご利用いただき嬉しいです。

今期の読了報告書フォームは管理職から貰うか、ES・CS担当に直接メール若しくはTeamsチャットでご連絡いただければ対応します。管理職に限らず、社員の皆様もどしどし提出して下さい。



第65期 新入社員 配属されて



メディカル営業支援課 上野 彪莞さん

最近イカしたバイクヘルメットを購入した原子力技術課の岡本健幹さんからバトンをいただきました。メディカル営業支援課の上野彪莞です。南斗五車星でもシンガーソングライターでもありませんが、ひゅーいと読みます。

私は生まれも育ちも岡山県です。その反動からか大学では旅程を決めない旅の楽しさを知り、九州を一周したり、東北を一周したり、バルト三国を縦断したりしていました。知らない土地を歩くのが好きなので、初めての東京での暮らしは毎日が楽しいです。いつか「おのぼりさん」感が抜けることを信じて暮らしています。

さて、これを書いている現在、メディカル営業支援課に配属されて半年が経過いたしました。配属が決まった時から現在まで変わらず感じているのは、メディカル営業支援課に配属されてよかったという気持ちです。松本課長、教育担当の山口さんをはじめ、優秀且つ個性的な先輩方に日々楽しく鍛えていただいています。少しでもはやく一

人前になれるよう、貪欲に先輩の技を盗んでいきたいな、と考えています。

現在は放射線治療のQA製品をメインに、見積もりや資料等を作成したり、お客様への訪問に同行させていただいたりしています。見積もりを作る際に考えるべきことから、製品の知識、お客様の前での立ち居振る舞いや説明の仕方など、学ぶべきことが多く面白いです。9月に行われた第124回日本医学物理学会では、初めて企業発表のブースにてExradinW2シンチレータについての発表をさせていただきました。発表はうまくいったものの、緊張で画面を指し示すレーザーポインターがぶるぶるしてしまうなど人前で話す経験の不足を感じました。残された半年で、訪問時や学会で自信をもって話せるようしっかりとした製品の知識を身に着けるべく頑張ります。

次なるバトンは、推しへの愛が日々止まらないRMCの後藤うららさんをお願いしたいと思います。

名古屋営業所 清野 浩大さん

この度はご覧頂き誠にありがとうございます。名古屋営業所の清野浩大と申します。

出身は長野県、大学は茨城県、就職後は名古屋と非の打ちどころの無い転居の連続に感服するばかりです。高度経済成長期の三種の神器とはテレビ、洗濯機、冷蔵庫と言われていますが、令和三種の神器は長野県、茨城県、愛知県といっても過言では無きにしても非ずといっても過言ではないでしょうか。初めての名古屋での生活は、まだ不慣れなことも多いですが、職場の先輩、環境共に有意義に過ごしております。

御託はこの辺りにして、配属されてからの状況について述べていきます。名古屋営業所に配属となった際は、名古屋に友人もおらず、営業という業務についてもわからないことだらけで不安で枕を涙で濡らしたのは今でも鮮明に覚えています。7月の配属後、所長をはじめ、先輩や事務員さんとお会いしました。初めは大変nervousでしたが、皆さん本当に素敵な方々で少しずつ馴染むことが出来ました。

特に所長や教育担当、年の近い先輩には大変お世話になり、週末は飲みに行く等と仕事外でも関わることが増え、喜びで脱帽の毎日です。業務をこなすようになり、迷惑をおかけすることも多いですが、少しでも早く戦力になれるよう精進して参ります。

最近はずいぶん、名古屋市エリアの施設で担当する業務も増え、まだまだ分からないことだらけで一人で完結できる案件も少ないですが、教育担当、営業の先輩に丁寧なご指導を頂きながら日々成長しております。

僥越ながら最後に、業務中の顔を激写致しましたので添付させていただきます。ぜひ今後とも営業員として、会社の為、精進して参りたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

次回は福岡営業所の花木来輝さんにバトンをお願いします。



菜の花だより No.16



～仙台あれこれ～

こんにちは、あゆむ会仙台支部の木幡幸雄と申します。2017年4月に退職致しました。1993年敦賀から仙台に赴任し今年で仙台在住30年となります。退職後は昨年まで花屋で働いていました。仙台市内や近隣の街の個人宅、ホテル、学校、商店、結婚式場、葬儀場などへの配送等で、とある企業の研修会場へ花束を届けた際は花瓶が用意してあり、大勢の前で生けて下さいと言われた時は内心冷や汗ものでした!(^^)! 違った業界を垣間見る事ができ貴重な体験となりました。

日常生活ですが毎朝の日課が兎と熱帯魚の世話で始まります。元々は子供が世話をしていたのが、いつしか自分の役になってしまい朝寝坊はできません。

体力維持のためウォーキングや、カメラ持参でブラブラ散歩、近くに市民の憩いの場になっている手頃な山があり、登山やスキーもたま～に行きます。写真では宮城県文化振興財団主催のコンテストに入選しました。

仙台国際ハーフマラソンや他にも年に数回、仙台営業所の有志と参加しております。いつまで走れるやらタイムよりもとにかく完走を目標にしております。ここ3年はコロナ禍で中止や規模の縮小となっており、今年こそは元の姿に戻って国分町で打ち上げをやりたいですね。

みなさんは仙台市と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？杜の都、支店の都市、東北の都会、パツと思いつく観光地がないような気がします。人口109万人で適度な都会、適度な田舎と言われています。

そんな仙台市が発祥の地と言われているものを紹介したいと思います。

- ①牛タン焼き（ほとんどが輸入物）
- ②冷やし中華（神田との説もあり）
- ③ハンバーガー（1971年のマック銀座1号店より20年前に販売）
- ④回転寿司（発祥は大阪の元禄寿司ですが、そのフランチャイズ1号店が仙台に開店）
- ⑤光通信（論文発表と特許取得が遅れノーベル賞を逃す?）
- ⑥八木・宇田アンテナ（テレビ放送やFM放送の受信に利用）
- ⑦水力発電（仙台の紡績工場で最初に水力を利用し発電を行う）
- ⑧フィギュアスケート（荒川静香、羽生結弦選手を輩出）etc.

またプロスポーツが仙台を拠点に、東北楽天ゴールデンイーグルス、ベガルタ仙台（一昨年までJ1でした）、仙台89ERS（バスケット）、マイナビ仙台レディース（女子サッカー）が活動しております。その他四季を通じて仙台青葉まつり、みちのくYOSAKOIまつり、仙台七夕まつり、定禅寺ジャズフェスティバル、SENDAI光のページェント等が開催され街が活気にあふれます。

以上、仙台あれこれでした。

（木幡 幸雄）



東北大学片平キャンパス



SENDAI 光のページェント

人の動き

入社

初めまして。よろしくお願ひします。

- 1/1 山本 楓花さん
(RMC業務課)
- 1/1 重兼沙友里さん
(敦賀営業所)
- 1/1 石戸谷達世さん
(アドバイザー (営業統括本部))

定年退職

お疲れさまでした。

- 12/31 荒川 悟さん
(関東業務課)
- 12/31 上野 貴子さん
(敦賀営業所)

入社

引き続き、よろしくお願ひします。

- 1/1 荒川 悟さん
(関東業務課)
- 1/1 上野 貴子さん
(敦賀営業所：大貫台興産)

退職

お疲れさまでした。

- 12/19 佐藤 綾香さん
(島根営業所)
- 12/31 小池 貴之さん
(メディカル技術課)
- 12/31 阿部 和貴さん
(研究開発課)
- 12/31 飛田 貴美さん
(放射線計測器校正課)
- 12/31 栗毛 芳明さん
(営業統括本部：大貫台興産)

結婚

おめでとうございます。

- 11/30 河内 貴紀さん (旧姓：増田)
(福島営業所 (営業課))
妻 奈穂 (なお) さん

誕生

おめでとうございます。

- 11/30 加々美 聖さん
(浜岡事務所)
★次男 侑 (ゆう) くん

編集後記

今回は、千葉県習志野市津田沼の菊田神社をご紹介します。国造りをまとめた偉大な神様の大神己貴大神が祀られています。縁結び、商売繁盛、厄難除の御利益があります。

境内には、アイーン狛犬と呼ばれている志村けんさんのアイーンの顔に似ている狛犬がいます。表情豊かな狛犬を見て、私もほっこり暖かい気持ちになりました。

お正月限定御朱印は、干支のうさぎが着物姿で手を合わせる、可愛いらしいデザインのものをお願いしました。御朱印には、アイーン狛犬の笑門来福のシール付でした。カラフルで可愛いらしいものが月替わりでもらえますので、毎月行きたいと思います。是非興味がある方は行って下さい。 ☺



おなむちのおおかみ

社内報

No.447 (令和5年2月号)

所在地 〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 株式会社千代田テクノル

電話 03-3816-5241 FAX 03-5803-4870

発行責任者 山口 哲郎 / 編集責任者 山口 哲郎 / 編集担当 鈴木 浩子